

## 7月8日食品規格部会での各委員コメント

- 暴露主体について精査すべき
  - 1. 米
  - 2. カドミ濃度の高い食品（コーデックス規格の無いカキ、ホタテや頭足類の内臓）
- コーデックス規格が設定されている食品全てに基準値を設定することにより生じるコストと寄与率とのバランスを考慮すべき
- 我が国の食生活の特殊性を考慮すべき（精米→玄米）
- 寄与率の高い「米」について、汚染の実態（地域差）の確認が必要
- コーデックス規格を基に基準を設定することは、賛成
- 我が国の食品摂取実態からカドミの寄与率が高いもののデータが必要（農産物の汚染実態データ（農水省））
- コーデックス規格が個別に定められていない食品で、我が国で摂取が多いと思われる食品「そば」、「大根」なども要検討
- 「米」、「大豆」等のカドミ低減措置対策はどのように行われているのか

## &lt;まとめ&gt;

食品中の汚染物質に係る規格基準設定の基本的考え方に従い、コーデックス規格に準拠する方針とした上で、我が国の事情も考慮し検討を行う